



鼻ぐり井手子どもガイド養成講座開講式

白水台地の陽光「さん」



6月14日(金)に上記のとおり開講式がありました。菊陽町には、20の町指定の文化財があり、南校区には、5つの指定文化財(鼻ぐり井手、馬場楠井手の取入口、南郷往還跡、六道塚古墳、井口眼鏡橋)があります。また、3つの無形文化財のうち、2つが南校区(馬場楠獅子舞、お法使祭)にあります。子どもガイド養成講座では、鼻ぐり井手、馬場楠井手取入口及び井口の眼鏡橋を中心に学びます。この講座の目的は、「私たちの住む菊陽町には、豊かな自然や貴重な文化遺産が数多くあります。伝統と文化を尊重し、先人の残した貴重な文化財を学習するによって、子どもたちは、菊陽町(南校区)の地域の良さを深く知ることができるようになります。そして、郷土を愛する心と学んだことを、誇りをもって話すことのできる力を養成する。」ことです。3・4年生が総合的な学習の時間を使って、学校の隣にある南部町民センターと連携しながら学習を進めていきます。基礎講座が4回と、現地研修が1回あります。講師は、地域の矢野誠也さん、内田清晴さん、前田千佳子さんです。このように、南小学校には、校区に文化財があり、詳しく教えていただく地域の方々がいらっしゃるといことは、本当にありがたいことです。子どもたちは、日ごろの学校の授業で学んだ知識や技能を、この講座で活用し、また、この講座で学んだことを、学校の授業に生かして欲しいと思います。11月17日(日)は、地域の大イベント《鼻ぐり井手祭》があり、本校の子どもたちが現場でガイドをします。地域の皆様方のご参加と、子どもたちへの応援をよろしくお願いいたします。



全校集会で委員会からの呼びかけ

6月21日(金)の朝の全校集会で、給食・生活委員会から『南小学校のあいさつ』について提案がありました。委員長から「皆さん、今の南小学校のあいさつはどう思いますか」という投げかけがあり、現在の状況を劇にして、みんなに考えてもらいました。また、全員での「おはようございます」の練習もありました。劇の後は、委員会へのお返しがあり、2年生から、今までの自分の言動を振り返っての発表もありました。この日、廊下ですれ違う子どもたちの挨拶は、本当に元気がありました。子どもたちの力はすごいと思います。



5年生『田植えの準備』

5年生は、社会科の授業で、米作りの学習があります。本校では、曲手の西岡和明さんのご厚意により、実際の田んぼで「田植え」や「稲刈り」の体験をさせてもらっています。この日は、植える前の苗の観察をさせてもらいました。6月26日(木)が田植えの本番です。

本当にありがとうございました。



